

10. 災害時栄養・食生活支援体制構築のための各種団体との連携の検討

高橋初江、成見みゆき、町田宗仁（佐久保健所）、宮島京子、白井祐二（北信保健所）、堀内亜矢子（総合リハビリテーションセンター）、佐々木隆一郎（飯田保健所）、寺井直樹（松本保健所）

要旨：中越沖地震の際の栄養士会の現地調査から、避難所への各種団体の炊き出し活動、被災者への管理栄養士等による栄養指導などの栄養・食生活支援活動の有用性が指摘された。今回、長野県内関係機関、ボランティア団体の災害時の支援活動及び平常時の訓練の実態について調査し、各種団体の災害時に期待される役割とその役割を果たすために支援すべき保健所の役割を検討したので報告する。

キーワード：住民ボランティア団体、栄養支援を期待される役割、各種団体との連携

A. 目的

中越沖地震の被災地域の現地調査結果から、食料が不足している避難所への各種団体による炊き出し活動が役に立っており、災害時の住民ボランティア団体等による栄養・食生活支援への活動が期待されている。

長野県内には栄養・食生活支援を期待できる各種住民ボランティア団体が存在しているが、各団体の災害時における活動の実態や準備状況は系統的に把握されていない。

そこで、災害時栄養・食生活支援ボランティア団体として期待できる団体の活動の実態、訓練の内容などを把握し、災害時における保健所等との連携の可能性について検討することとした。

B. 研究方法

長野県内の各種住民ボランティア団体の中で、災害時に住民に対する栄養・食生活支援が期待できる団体を選択し、実態調査を行った。

①調査対象：協力可能な団体と考えられる7団体

- ・長野県栄養士会
- ・長野県食生活改善推進協議会
- ・日赤奉仕団（日本赤十字社長野県支部）
- ・結核予防婦人会（結核予防会長野県支部）
- ・JA女性・婦人部（長野県女性組織協議会）
- ・長野県調理師会
- ・長野県保健補導員会等連絡協議会

②調査内容：災害時における協力可能な栄養・食生活支援の内容及び訓練の実態把握

③検討方法：調査資料を基礎資料として、グループディスカッションにより、以下の二点について検討した。

- ・各団体の特徴と期待できる役割
- ・各団体が役割を担うための保健所の役割

C. 結果

今回調査を行った7団体についての調査結果を表1に示した。以下に検討結果の概要を述べる。

長野県栄養士会：災害発生時に、被災地域の市町村栄

養士からの情報収集により、被災地域における緊急必要食料、特殊食品の必要数量の把握を行い、避難所への提供や特殊食品取扱業者への連絡等の役割が期待できることが分かった。

日赤奉仕団：災害時の炊き出しおよびそのための訓練を行っていることが分かった。

日赤奉仕団以外の住民ボランティア団体：災害時における炊き出し等の食生活支援や訓練を行っていない実態が把握できた。

今後、日赤奉仕団以外のボランティア団体に期待される役割は、以下の内容が考えられた。

- －長野県栄養士会
 - ・居住地域及び近隣地域の救援活動
 - ・栄養管理が必要な住民に対する栄養指導
 - ・救援要請のある特定給食施設等への派遣栄養士の確保
- －長野県食生活改善推進協議会
 - ・避難所への炊き出し活動
 - ・居住地域住民の安否確認
 - ・安否が確認された後の手作り料理訪問活動
 - ・炊き出し料理献立作成
- －その他団体
 - ・避難所への炊き出し活動

これらの結果を基礎に検討した保健所の役割は、以下のようにとまとめた。

- ・各種団体が、災害時の栄養・食生活支援ボランティア団体としての活躍を期待されていることを認識してもらうための普及啓発。
- ・各種団体及び関係機関による連絡会の開催。
- ・各種団体に対する、期待に応えるための訓練等研修の支援。
- ・市町村はじめ関係機関・団体との連携による体制整備。

D. 考察

地域には各種ボランティア団体が存在するが、災害時

に栄養・食生活支援に対して訓練などの実効性のある準備を行っている団体は、現段階においては日赤奉仕団以外には存在しないことが判明した。

このため、当面、地域でこれらの団体が栄養・食生活支援に関する連携体制に加わり、栄養・食生活支援を各団体の活動内容に加えてもらうための啓発活動が必要である。

また、住民ボランティア団体に災害時に期待される役割を担ってもらうために、市町村はじめ関係団体等を対象にした連絡会議を開催し、災害時の役割、分担等につ

いて検討し、支援体制の構築を図っていくことが必要であると考えた。

参考文献

- 1 「柏崎地域災害時食生活支援システム検討会」報告書. 新潟県柏崎地域振興局健康福祉部. 2008
- 2 健康危機管理時の栄養・食生活支援ガイドライン. 日本公衆衛生協会. 2007
- 3 新潟県災害時栄養・食生活支援活動ガイドラインー実践編ー. 新潟県福祉保健部. 2008

表1 住民ボランティア団体による「災害発生に備えた栄養・食生活支援の取り組み状況」等

団体名	災害時に支援できる内容（現状）	災害時に支援するための教育・訓練の内容（現状）	期待される役割	期待される役割を遂行するため今後取り組みが必要な事項
長野県栄養士会	・被災地の市町村管理栄養士等へ連絡をとり、使用したい食料を把握し、会費で購入して一般の避難所へ搬送。 ・特別な食品が必要な場合は賛助会員である卸業者に連絡し在庫確認及びメーカーへの連絡を依頼。 ・見舞金の送付	なし	・居住地域及び近隣地域の救援活動 ・栄養管理が必要な住民に対する栄養指導 ・救援要請のある特定給食施設等への派遣栄養士の確保	・連絡網、連絡体制の整備 ・協力可能者のリストアップと名簿の整備 ・平常時に非常時の確認と訓練 ・広域避難所の把握
長野県食生活改善推進協議会	・現在特に行っていない。今後、具体的な内容について、県・市町村管理栄養士等と連携をとりながら検討したい。[例：要支援者、介護者等への料理の配布]	なし	・避難住民への炊き出し支援活動 ・居住地域住民の安否確認 ・安否が確認された後での手作り料理訪問活動 ・炊き出し料理献立作成	・平常時における炊き出しの訓練 ・会員の地区ごとのリストアップ
日赤奉仕団（日本赤十字社長野県支部）	・包装食袋を使った炊き出し ・釜での炊きだし ・大釜での豚汁などの汁物作り	支部で日赤奉仕団の幹部研修会を開催し、災害時における対応、消防団との連携等について討議。	・避難住民への炊き出し支援活動	
結核予防婦人会（結核予防会長野県支部）	・災害時の支援ということは、特に行っていない。	なし	・避難住民への炊き出し支援活動	・平常時における炊き出しの訓練 ・会員の地区ごとのリストアップ
J A 女性・婦人部（長野県女性組織協議会）	・災害が起きた時は対策本部が設置され、その指示に基づき活動する。（炊き出し、掃除など）	なし	・避難住民への炊き出し支援活動	・平常時における炊き出しの訓練 ・会員の地区ごとのリストアップ
長野県調理師会	・現時点では、組織としてのシステムはない。現在は個人的に調理師として炊き出しの手伝い・道具の貸し出し等を行っている。	なし	・避難住民への炊き出し支援活動	・平常時における炊き出しの訓練 ・会員の地区ごとのリストアップ
長野県保健補導員会等連絡協議会	・災害時への支援については特に考えていない。	なし	・避難住民への炊き出し支援活動	・平常時における炊き出しの訓練 ・会員の地区ごとのリストアップ